

「第3期伊賀市中心市街地活性化基本計画」中間案
パブリックコメント意見一覧

資料4

意見数：12名／13件

番号	箇所	意見等 (原文のまま)
1	-	若者が楽しめる市街地を作れば栄える 若者が離れて行かないようにショッピングモールや免税店などがあれば住み続けてくれると思います
2	18、19ページ	関西本線に続いて伊賀線も全域でのICOCA対応が控えており利便性が大いに向上すると思われます。行政が行き過ぎた広報をするべきとまでは考えませんが、外部観光客の誘因に繋がれるようなPR活動ができると良いですね。市民としてはあくまで便利になるものであり利用増につなげるのは難しいでしょうが、外部からの流入は多少なり期待できると思います。別の論点となりますが高速バスの現状につきまして。中間案でも「コロナ禍による減便」と記載されていますが、大阪（新大阪）⇄伊賀上野も高速バスは現状途絶えたままと認識しています。他サイトで申し訳ないのですが、公益財団法人伊賀市文化都市協会（恐らく県の外郭団体ですよ？）のHP上ではまだ三重交通の高速バスが案内されていたりします。実際に利用者が少ないため減便或いは停止となっているのですが、観光ルートでは近鉄から伊賀神戸駅経由のルートより利便性があるようにも思われます。長期的にはに見通しの厳しい関西本線の活性化・電化促進よりも高速バスの利用促進を図る事も一案ではないかと考えます。
3	62ページ（全体を通して） 空き家・空き店舗対策事業について	以前より空き家対策事業は行われていると思うが、あまり機能していないように感じている。中心市街地にたくさん空き家や空き店舗（シャッターを閉じている）、使われていない土地があるが、あまり市場に流通していない物件も多いように思う。また、空き家があると言われても古くさく耐震も十分でないものばかりで、正直住みたい・利用したいとは思わない。それであれば、いっそのこと全て解体し更地にして、新しい施設など建てて利便性を高めてほしい。空き家を使うことにばかりを進めるのではなく、市役所が立派なように綺麗な建物・施設を市民も利用したい。そのほか、中心市街地の土地値がそもそも高すぎて子育て世帯には十分な土地が買えない。中心市街地の空洞化は、昔とは価値が違っているにも関わらず、土地所有者が土地値を高く考えすぎているからではないでしょうか。もっと安く売っていかないと若者は郊外に住むしかありません。土地所有者たちに危機的な現状を真剣に理解して考えてもらうことが一番重要なことかと思う。
4	14ページ 土地利用	そもそもなぜ中心地域についての開発等の計画なのか、道路事情、交通量を考えれば周辺地域(旧伊賀町地域)を含め、現状を適格に分析した計画を考えてもらいたい。交通の便がいい所が農振地で開発も出来ないような条例を作ったりといった伊賀市の現状から将来も見えていないことをまず見直すべき。

番号	箇所	意見等 (原文のまま)
5	30ページ～	行きたい場所がないに対して、日頃から感じている。商業施設が増えて嬉しい反面、どこの県にも似たような平面商業施設の集まり作って、ここでないと言うような魅力は乏しい。伊賀市に無印やスーパーや集まって賑わいそうでも、利用する市民は結局少ない住民達だけで利益も市内で取り合ってるように思う。チェーン店もいいけども、自営業で頑張ってくれる伊賀らしいお店やオリジナルなお店を応援していきたいと思う。空き店舗や古びた雰囲気のままの場所がこの土地に引っ越してきて1番目についたし、寂れた場所に期待はせず都会に買い物や刺激を求めれば済む世代なので、都市計画にさほど期待してないのが現状です。車が運転できる者からしたら、この土地には安心安全に子育てができて、都会と比べても劣らない賃金の確保ができる仕事ができたら、この土地で住みやすいと感じれる。
6	74ページ	伊賀市の観光としての最大ネックは観光地に行く為の移動手段だと思います。バスは不便ですし移動するならば車となり車以外で来られた観光客の皆様が少し離れた観光地に行きにくい課題があると思います。東京の「はとバス」のように「にんまる」サイズのバスで観光場所（観光地、地酒の醸造所、伊賀米の田植え体験、くみひも体験など）を巡るツアー（海外の観光客対応で英語やその他の外国語でも説明）を官民一体となって取り組んでほしい意見させていただきます。
7	74ページ	伊賀市中心地を活性させるならば伊賀市の人口増加が必須であると思います。人が増えないと伊賀市の活力がなくなり将来伊賀市というものがなくなってしまうと思います。持続的な伊賀市の継続、伊賀市人口の増加には赤ちゃんの出生が必須だと思います。しかしながら絶望的な日本政府の政策で一般人の経済環境は非常に厳しく将来の不安から結婚が出来ない、子供を望めないという人も多いと思います。伊賀市として赤ちゃん一人につき100万単位のお祝い金を出す、保育園、幼稚園無償などの思い切った政策を取って頂きたいです。
8	-	賑わいが少ない 中心部にひとを引きつけるテナントが少ない また、中心部へのアクセス方式も限られてる
9	31ページ	銀座通りに面して戸建てが増えてきました。店舗がなくなったからとはいえ、にぎわいとは逆のもので、違和感がある。町並みにすべて中途半端さを感じる。他市が昭和レトロの町並みに統一したよう、もっと統一できないのか？お店も新しいものができては分りづらく行きにくい。空き家が多いならいっそすべて潰して駐車場を広くとり、コの字型に町並みに合わせた建物をつくって小さく区切って店舗を入れる形態。いまは映えないとこない。美しく古さを出すか、新しく統一するか。裏道の歩道の確保も問題あり。観光地は歩道の整備もすすんでいる。
10	8ページ 高齢化比率の推移 58～59ページ 現況・市民意見・取組評価 62ページ以降 主な事業	8ページ：分析の結果（グラフ）から若年世代の居住需要が一定であることがわかってはいますが、このグラフから若年世代の転入が増えていることはわかりませんと思います。 58～59ページ：重要な記述ですが大変見づらい構成になっています。もっとページを割いてもわかりやすい構成にされては如何でしょうか。 62ページ以降：事業主体の役割（複数の事業主体がある場合）を記述したほうがわかりやすいと思います。この事業主体がこうするからこの事業主体と協働（連携）できる等の記述が必要ではないでしょうか。計画に携わっていない市民等には羅列されてはわかりづらいと思います。できれば事業主体の説明があればわかりやすいと思います。

番号	箇所	意見等 (原文のまま)
11	60ページ	目指す方向は、しっかり決まっているように思います。ただ、これを実現するには、もっと深い所での郷土愛というか、繋がりを深めていくような方策が必要ではないかと思います。自分の町だと思えるようにしむけていきたいですね。
12	51ページ	通院で歩いて行ける総合病院郊外へ移転して不便になっています。紹介状出してもらい行くにしてもタクシー利用するしかない郊外にとんでも移転する発想している様に思います。利用場所中心市街地であるということが活性化につながると思います。市役所本庁、病院まで移転で寂れ感が進んでいる様に思いますので改善策もっと慎重に考えてほしい。
13	29ページ～ 中心市街地の魅力 38ページ 地域別 中心市街地の魅力向上・活性化に必要な取組	車を使わず歩いて生活できることが理想であるが、施設等の利用の選択肢が限られている。商業施設が中心市街化周辺に集中してきており、市街地に魅力がなくなっているのが否めない。コンパクトシティ化は？ また商業と観光は一对のものであることだと思う。最近では、ひな人形祭りひとつとっても、分散されており、規模的にも目玉的なものがないか。（ハイトピアの活用）